

田辺三菱製薬株式会社



田辺三菱製薬

2017年度第2四半期 決算説明会

(2017年4月1日～2017年9月30日)

2017年11月1日
取締役 常務執行役員
田原 永三

2017年度第2四半期 決算概要

2017年度第2四半期 決算概要

国内医療用医薬品の伸長、ラジカヴァの発売等により、売上収益は増収
ラジカヴァの販売活動費、研究開発費の増加により、コア営業利益は減益

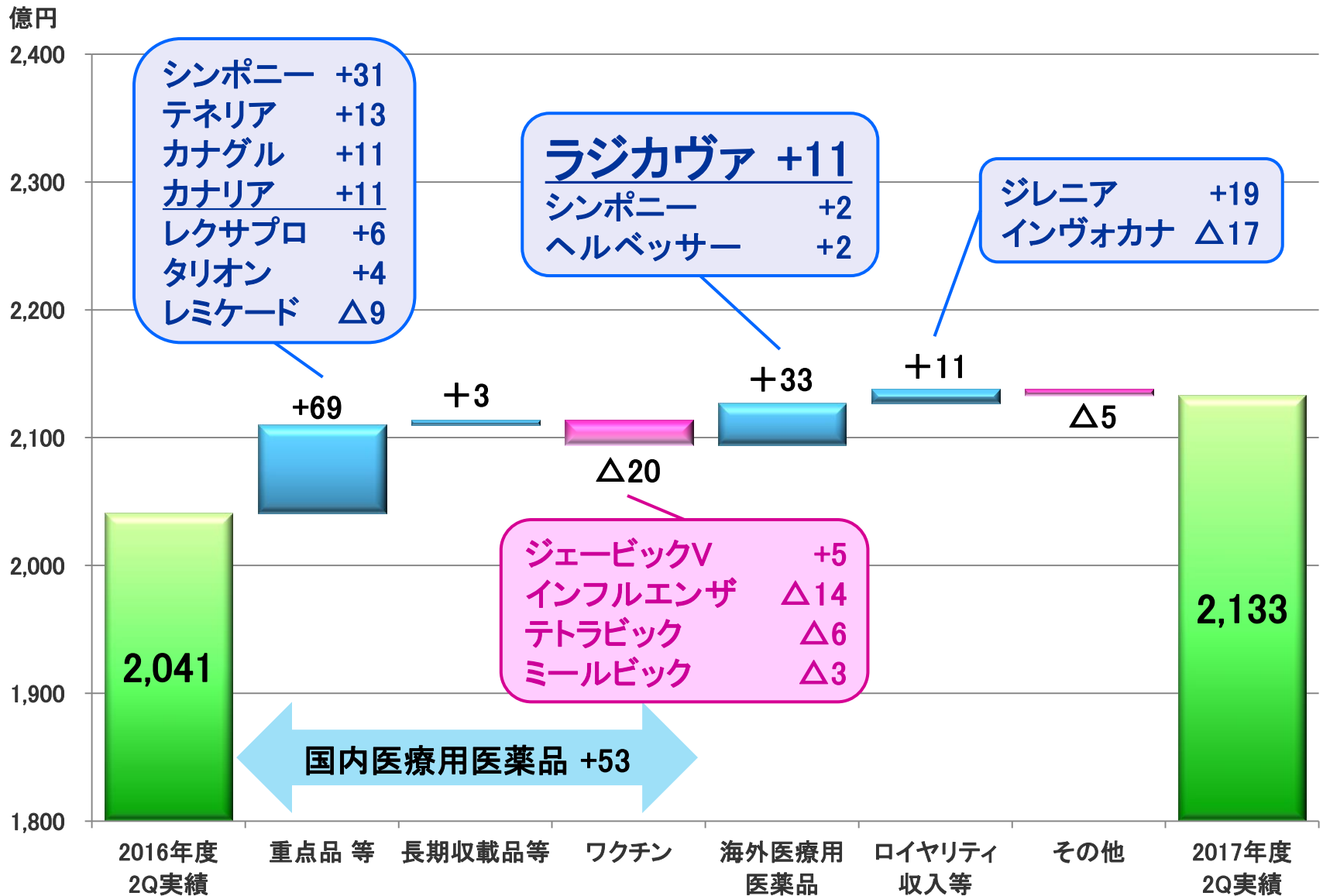
	2017年度 第2四半期	2016年度 第2四半期	増減	
	億円	億円	億円	%
売上収益	2,133	2,041	+92	+4.5
（うち海外売上収益）	526	486	+39	+8.1
海外売上比率	24.7%	23.9%		
売上原価	845	783	+61	+7.8
売上原価率	39.6%	38.4%		
売上総利益	1,288	1,257	+30	+2.5
コア営業利益	397	479	△82	△17.2
営業利益	368	478	△109	△22.9
四半期利益 （親会社帰属）	298	362	△64	△17.8

為替(\$)(期中平均)

111.29円

105.39円

売上収益の増減



売上原価・販管費・コア営業利益

ラジカヴァの発売に伴う販管費の増加
後期開発候補品 への研究開発投資の実施

	2017年度 第2四半期	2016年度 第2四半期	増減	
	億円	億円	億円	%
売上収益	2,133	2,041	+92	+4.5
売上原価	845	783	+61	+7.8
売上原価率	39.6%	38.4%		
売上総利益	1,288	1,257	+30	+2.5
販管費	514	466	+47	+10.2
研究開発費	363	303	+60	+20.0
製品に係る無形資産償却費	10	7	+3	+43.0
その他損益 *	△2	△0	△1	-
コア営業利益	397	479	△82	△17.2

* 費用・損失の場合に△と表示

バイファの事業終息費用等で、非経常項目が発生

	2017年度	2016年度	増減	
	第2四半期	第2四半期	億円	%
コア営業利益	397	479	△82	△17.2
非経常項目 *	△28	△1	△27	-
営業利益	368	478	△109	△22.9
金融収益	12	18	△6	△34.8
金融費用	5	2	+2	+71.5
四半期利益(親会社帰属)	298	362	△64	△17.8

* 費用・損失の場合に△と表示

通期業績予想

当社は、2017年10月24日に、
上期・通期業績予想を修正して公表しております

通期業績予想修正 売上収益・売上総利益・コア営業利益

海外ロイヤリティの減収により売上収益は減収

ニューロダーム社買収に伴う研究開発費増加等により、コア営業利益は減益

	2017年度 修正予想	2017年度 当初予想	増減		2016年度 実績	増減	
	億円	億円	億円	%	億円	億円	%
売上収益	4,330	4,410	△80	△1.8	4,239	+90	+2.1
売上原価	1,695	1,695	-	-	1,643	+51	+3.1
売上原価率	39.1%	38.4%			38.8%		
売上総利益	2,635	2,715	△80	△2.9	2,595	+39	+1.5
販管費	1,040	1,050	△10	△1.0	983	+56	+5.8
研究開発費	765	735	+30	+4.1	647	+117	+18.1
製品に係る 無形資産償却費	25	25	-	-	15	+9	+63.6
その他損益	△5	△5	-	-	△4	△0	-
コア営業利益	800	900	△100	△11.1	945	△145	△15.4

ジェネリック医薬品事業の譲渡益等により、非経常項目が改善

	2017年度 修正予想	2017年度 当初予想	増減		2016年度 実績	増減	
	億円	億円	億円	%	億円	億円	%
コア営業利益	800	900	△100	△11.1	945	△145	△15.4
非経常項目*	10	-	10	-	△4	+14	-
営業利益	810	900	△90	△10.0	940	△130	△13.9
税引前利益	820	910	△90	△9.9	960	△140	△14.6
当期利益 (親会社帰属)	635	715	△80	△11.2	712	△77	△10.9



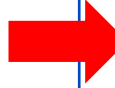
* 費用・損失の場合に△と表示

開発パイプラインの進捗 等




主な開発パイプラインの進捗状況

2017年度1Q決算発表(2017年7月31日)以降の進捗状況

2017年11月1日現在

治験コード(一般名)	機序(予定適応症)	地域	P1	P2	P3	申請
MT-2271	植物由来VLPワクチン (季節性インフルエンザの予防)	米、欧、 カナダ他				
MT-5199	小胞モノアミントランスポーター2阻害剤 (遅発性ジスキネジア)	日本				
MT-8554	神経系用剤 等 (糖尿病性末梢神経障害に伴う疼痛)	欧州				
MP-214 (カリプラジン塩酸塩)	ドパミンD3/D2受容体パーシャルアゴニスト (統合失調症)	開発中止 (ゲデオンリヒターとのライセンス契約変更)				

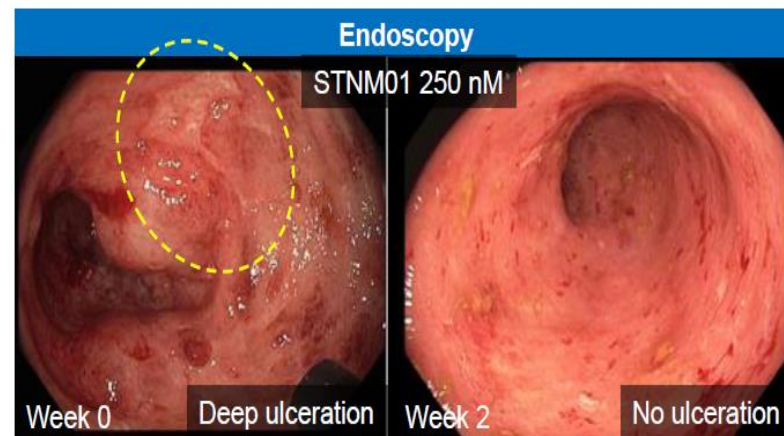
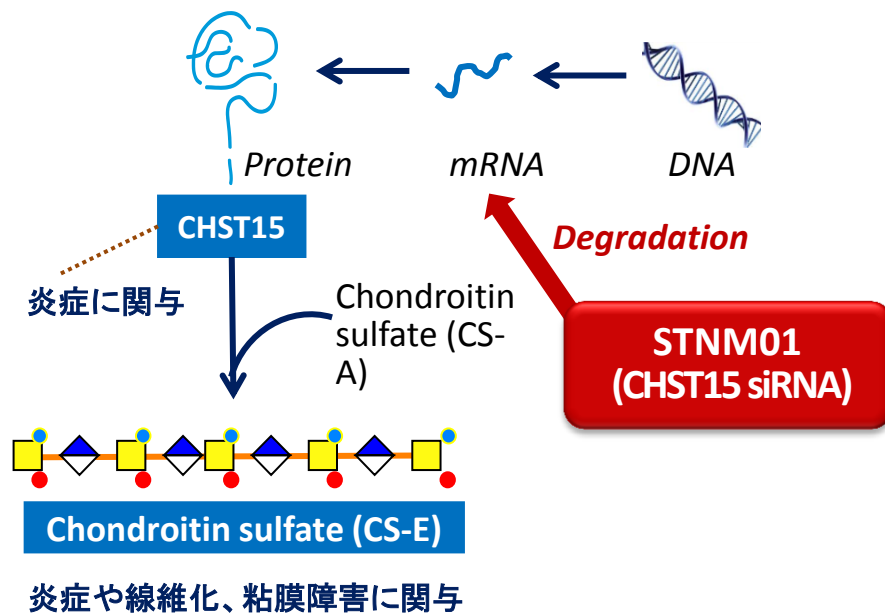
(ニューロダーム社のパイプライン)

治験コード(一般名)	機序(予定適応症)	地域	P1	P2	P3	申請
ND0612 (レボドパ / カルビドパ)	持続皮下注投与ポンプ / パッチ製剤 (パーキンソン病)	米、欧			P3準備中 近日投与を開始	
ND0801 (ニコチン / オピプラモール)	経皮剤 (中枢神経系疾患に伴う認知障害)	イスラ エル				
ND0701 (アポモルフィン)	持続皮下注投与ポンプ (パーキンソン病)	欧州				

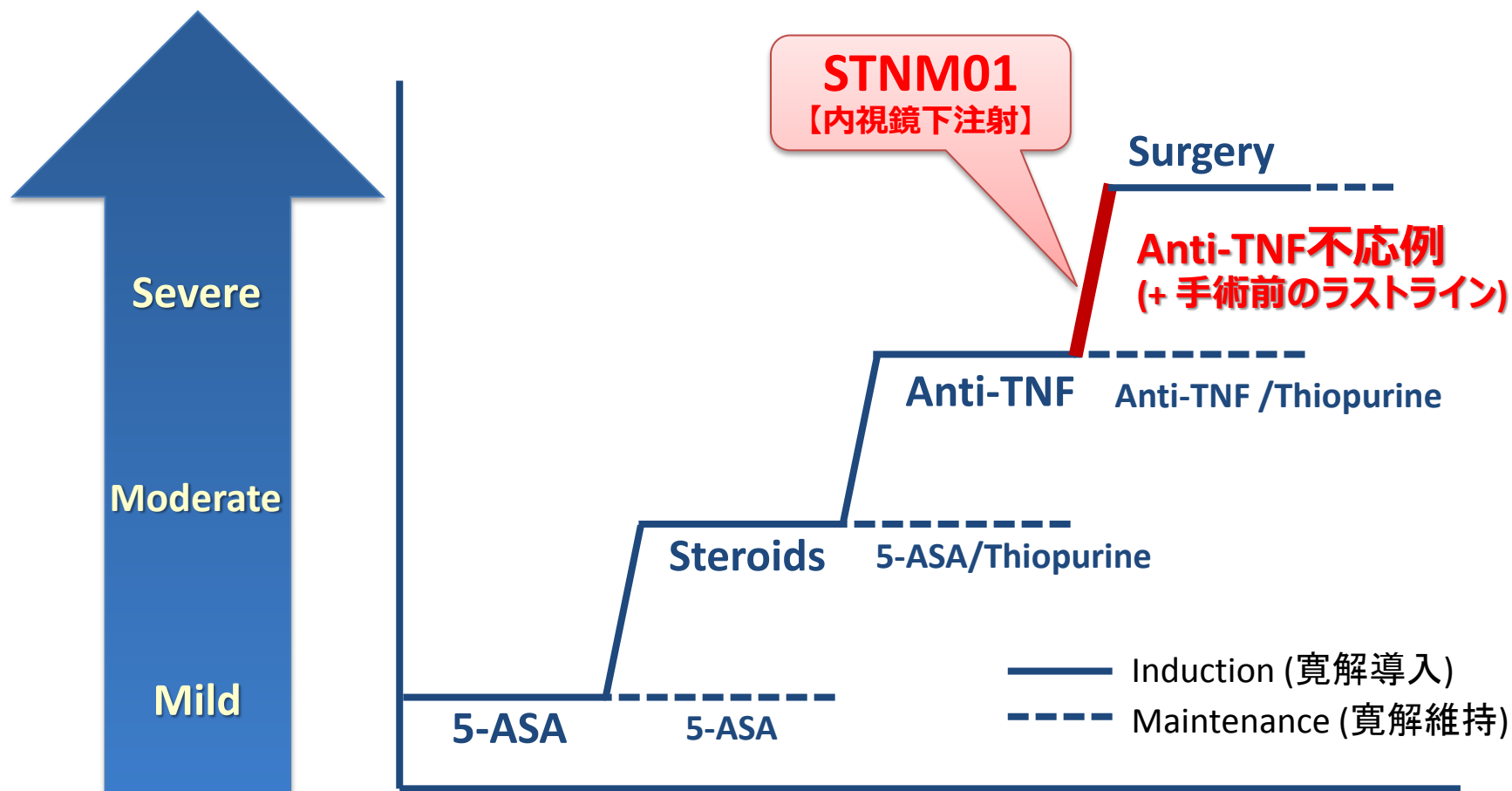
炎症性腸疾患を適応とする核酸医薬品「STNM01」を獲得

STNM01

- CHST15(糖硫酸転移酵素15)阻害siRNA (small interfering RNA)
- CHST15の抑制により、リンパ球の浸潤抑制や粘膜保護/治癒が期待され、ヒトにおける組織・内視鏡所見において粘膜障害の改善が確認されている。
- 内視鏡下での粘膜下投与という新投与方法. 局所注射剤.



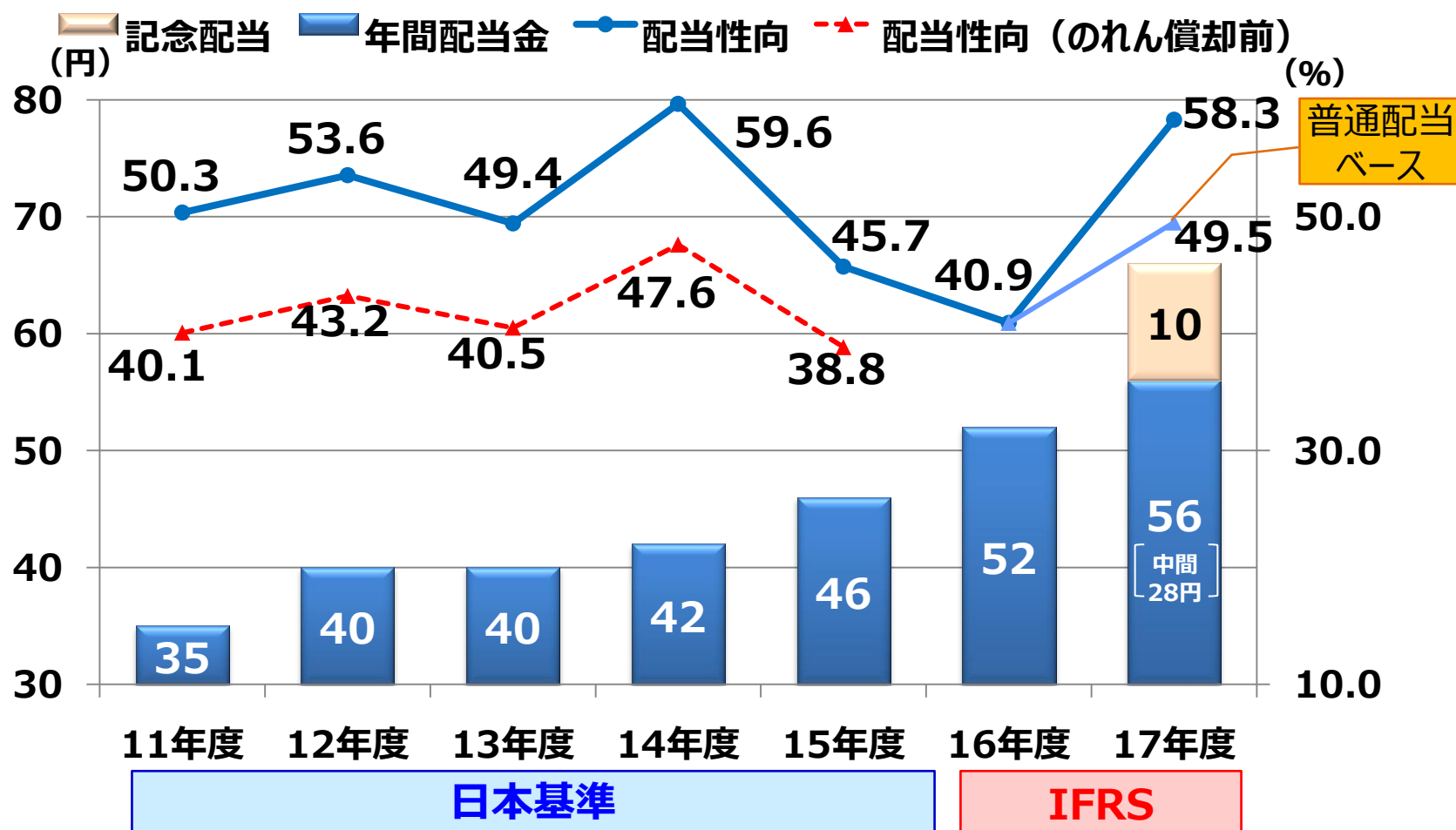
既存治療で効果不十分な活動性UCの寛解導入および粘膜治癒をめざす



株主還元

配当金推移

- 「中期経営計画16-20」期間は、連結配当性向50% (IFRS) を目途に配当を実施。
- 株主還元の基本方針を踏まえ、中間配当金28円、10周年記念配当10円を加えて38円。
- 2017年度配当金については、期末配当28円、年間配当14円増配の66円を予定。



Open Up the Future

医療の未来を切り拓く

独自の価値を一番乗りでお届けする、
スピード感のある企業へ



田辺三菱製薬

補足資料

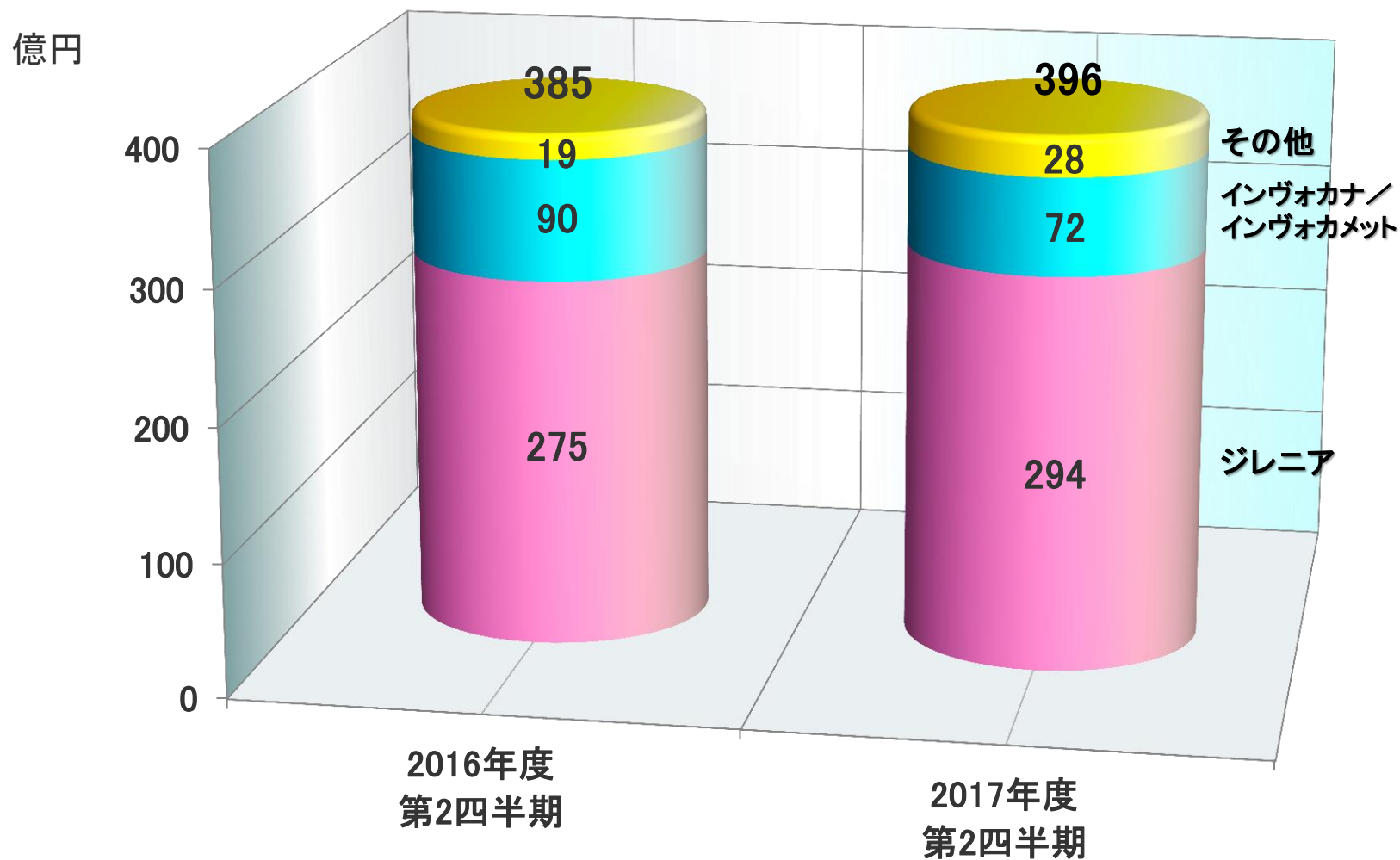


売上収益の内訳(第2四半期)

	2017年度 第2四半期	2016年度 第2四半期	増減	
	億円	億円	億円	%
売上収益	2,133	2,041	+92	+4.5
(うち海外売上収益)	526	486	+39	+8.1
国内医療用医薬品	1,572	1,519	+53	+3.5
海外医療用医薬品	139	106	+33	+31.2
ロイヤリティ収入等	396	385	+11	+2.9
一般用医薬品	21	19	+2	+11.5
その他	2	9	△7	△74.4

国内医療用医薬品 重点品等 売上収益

	2017年度 第2四半期	2016年度 第2四半期	増減	
	億円	億円	億円	%
レミケード	329	338	△9	△2.7
シンポニー	153	121	+31	+25.8
テネリア	93	80	+13	+16.3
タリオン	79	74	+4	+6.4
レクサプロ	62	55	+6	+12.6
カナグル	26	15	+11	+76.6
イムセラ	24	24	+0	+0.2
重点品合計	769	710	+58	+8.3
(新製品)カナリア	11	-	+11	-
テトラビック	44	50	△6	△12.8
ミールビック	29	32	△3	△11.4
水痘ワクチン	27	28	△1	△4.1
ジェービックV	28	23	+5	+24.0
インフルエンザワクチン	11	25	△14	△56.3
ワクチン合計	144	165	△20	△12.4



為替(\$)(期中平均)

105.39円

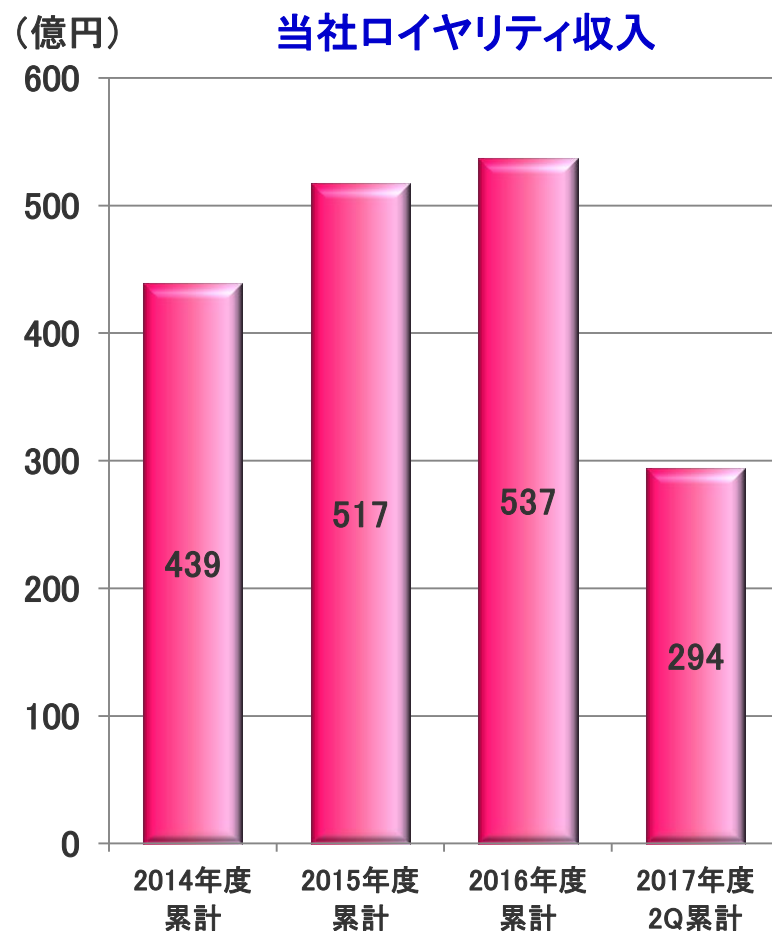
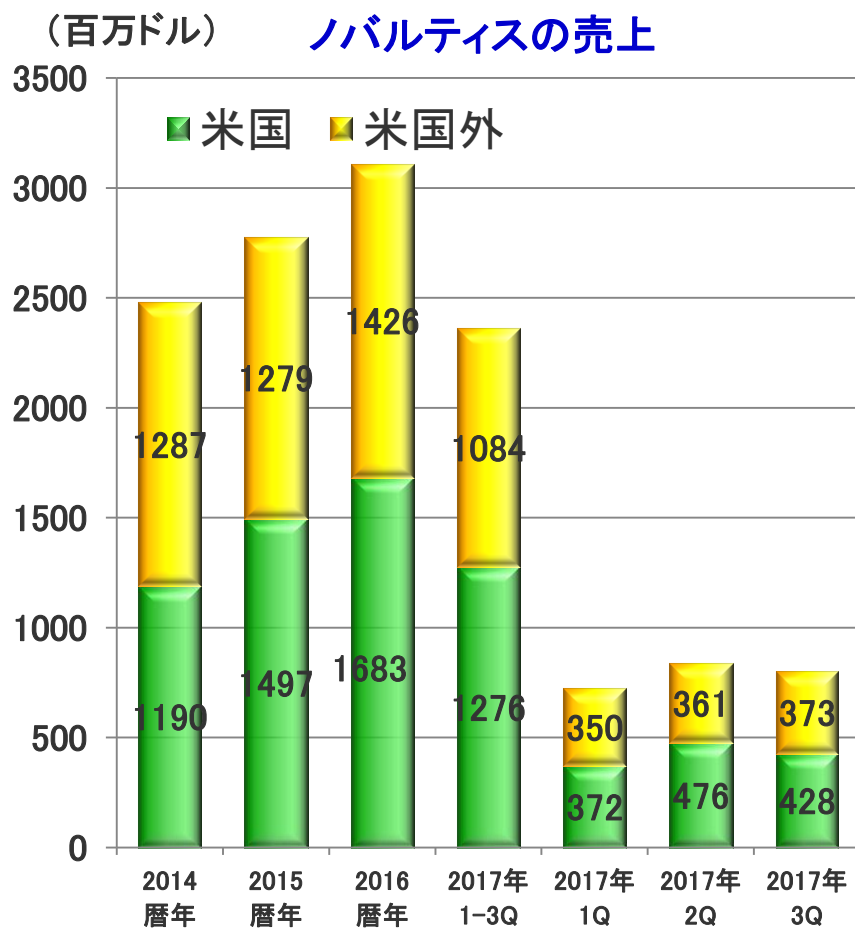
111.29円

2017年度 通期業績予想修正 重点品等売上収益

	2017年度 修正予想	2017年度 当初予想	増減		2016年度 実績	増減*	
	億円	億円	億円	%	億	億円	%
国内医療用医薬品	3,154	3,154	-	-	3,142	+12	+0.4
重点品合計	1,599	1,586	+13	+0.8	1,469	+130	+8.8
レミケード	647	647	-	-	668	△21	△3.2
シンポニー	303	290	+13	+4.6	249	+54	+21.9
テネリア	191	191	-	-	165	+25	+15.4
タリオン	208	208	-	-	189	+18	+9.7
レクサプロ	129	129	-	-	112	+16	+14.6
イムセラ	51	51	-	-	49	+2	+4.1
カナグル	69	69	-	-	34	+34	+99.0
ワクチン	361	391	△30	△7.8	389	△28	△7.3
インフルエンザ	100	141	△40	△28.9	127	△27	△21.5
テトラビック	92	92	-	-	99	△7	△7.5
水痘ワクチン	57	57	-	-	54	+3	+5.5
ミールビック	52	52	-	-	59	△6	△10.6
ジェービックV	49	39	+10	+25.6	39	+9	+24.4
ロイヤリティ収入等	802	874	△71	△8.2	822	△19	△2.4
ジレニア	非開示	非開示	-	-	537	-	-
インヴォカナ	非開示	非開示	-	-	188	-	-

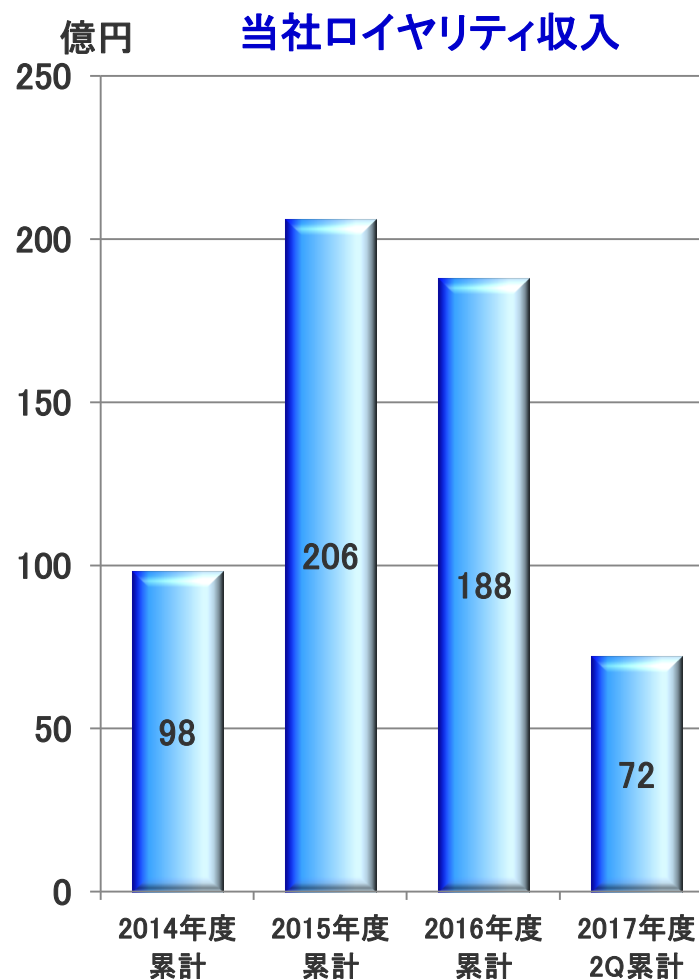
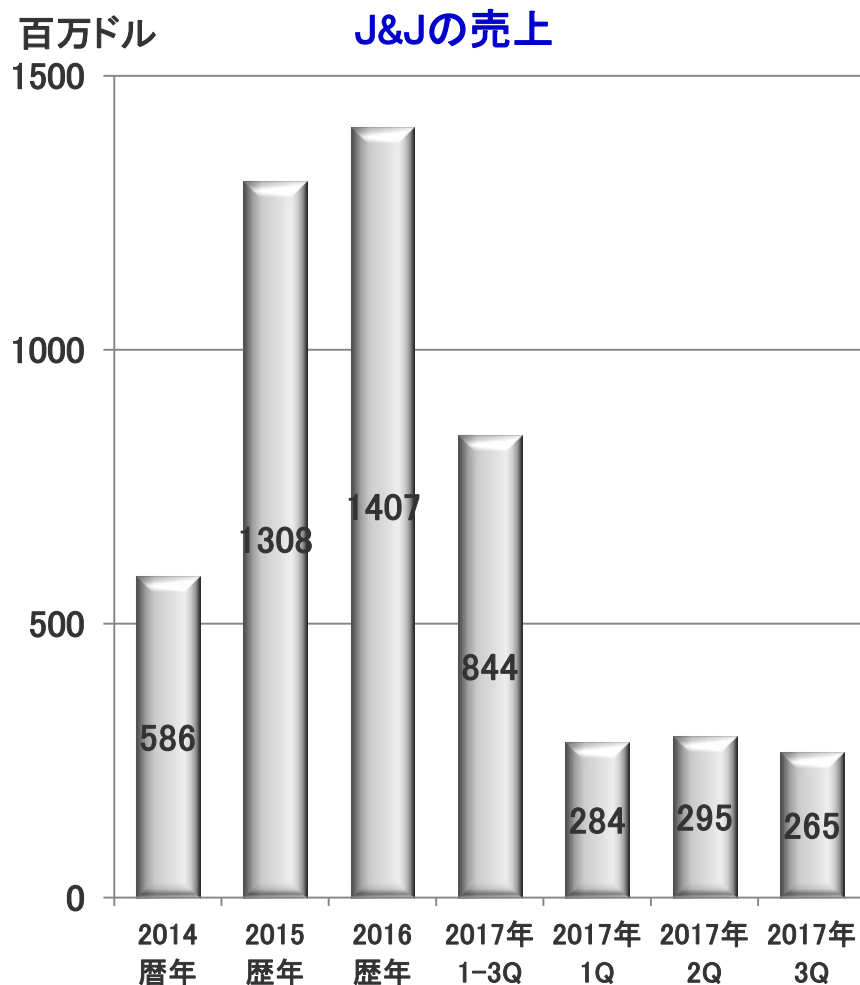
* 2016年度の増減は修正予想との比較

- ◆ ノバルティスの2017年3Q(2017年7-9月)売上高は801百万ドル(前年同期 790百万ドル)
- ◆ 当社2017年度2Q(2017年4-9月)のロイヤリティ収入は294億円



インヴォカナ・インヴォカメット

- ◆ J&Jの2017年3Q(2017年7-9月)売上高は265百万ドル(前年同期 328百万ドル)
- ◆ 当社2017年度2Q(2017年4-9月)のロイヤリティ収入は72億円



赤字: 2017年度第1四半期決算発表(2017年7月31日)以降進捗

2017年11月1日現在

フェーズ1試験

フェーズ2試験

フェーズ3試験

申請

承認

- MT-1303 (日・欧・米)
炎症・自己免疫疾患
- MP-513 (米国)
2型糖尿病
- MT-3995 (米国)
糖尿病性腎症
- MT-7529 (カナダ)
インフルエンザ[H7N9]予防
- GB-1057 (米国)
血液及び体液用剤
- MP-124 (米国)
神経系用剤
- MP-157 (欧州)
循環器官用剤
- MT-0814 (日本)
眼科用剤
- MT-7117 (欧州)
皮膚科用剤等
- MT-4129 (欧州)
循環器官用剤等
- MT-2990 (欧州)
炎症・自己免疫疾患等
- MT-2765 (中国)
循環器官用剤等
- ND0701 (欧州)
パーキンソン病

- MT-1303 (欧州)
多発性硬化症、乾癬
- MT-1303 (欧州、日本)
クローン病
- MP-513 (欧州)
2型糖尿病
- MT-3995 (欧州、日本)
糖尿病性腎症
- MT-8972 (カナダ)
インフルエンザ[H5N1]予防
- MT-3995 (日本)
非アルコール性脂肪性肝炎
- MT-6548 (日本)
腎性貧血
- MT-8554 (欧州)
糖尿病性末梢神経障害に伴う疼痛
- ND0612 (米国、欧州)
パーキンソン病
- ND0801 (イスラエル)
中枢神経系疾患に伴う認知障害

- カナグル(国際共同治験)*1
糖尿病性腎症
- MP-513 (中国)
2型糖尿病
- MT-2355 (日本)*2
5種混合ワクチン(4混+Hib)
- MT-2271 (米、欧、カナダ他)
季節性インフルエンザ予防
- MT-5199 (日本)
遅発性ジスキネジア

- MP-513 (インドネシア)
2型糖尿病
- ノバスタン(中国)
脳血栓症急性期
- TA-7284 (インドネシア)
2型糖尿病

治療対象疾患

- : 自己免疫疾患 ■ : 糖尿病・腎疾患
- : 中枢神経系疾患 ■ : ワクチン ■ : その他

主な導出品 (フェーズ3以降)

申請

- MT-4580 (日本)
維持透析下の二次性副甲状腺機能亢進症
- TA-7284 (米国、欧州)
心血管疾患の既往がある、または心血管疾患リスクがある2型糖尿病における死亡リスク低減 (CANVAS/CANVAS-R)

フェーズ3

- TA-7284 (国際共同治験)*1
糖尿病性腎症
- MT-4580 (日本)
副甲状腺がんおよび原発性副甲状腺機能亢進症における高カルシウム血症

*1 : 治験依頼者: ヤンセン リサーチ アンド デベロップメント

*2 : 阪大微生物病研究会(日)と共同開発

注意事項

本資料に記載した一切の記述内容は、現時点での入手可能な情報に基づき、一部主観的前提をおいて合理的に判断したものであり、将来の結果はさまざまな要素により大きく異なる可能性がありますので、ご了承ください。